

AGUD・P Library Letter

平成26年 11月利用状況

平成26年12月1日

(1)開館日数及び入館者数

(昼間・9:00～17:30、夜間・17:30～20:00)

	開館日数		入館者数		
	昼間	夜間	昼間	夜間	合計
楠元	23	18	10,814	1,985	12,799
末盛分室	23	18	3,389	1,091	4,480
合計	———		14,203	3,076	17,279

学外利用者(登録なし) :	楠元	5
	末盛分室	1

(2) 帯出冊数

	教職員	学生	その他登録者	合計
冊数	224	885	54	1,163

(3) 帯出人数

	教職員	学生	その他登録者	合計
人数	132	505	22	659

帯出人数「学生」のうち : 人

歯学部学生	薬学部学生	短大生
265	136	35

(4)-1文献相互貸借依頼件数 (4)-2図書・雑誌貸借依頼件数

	件数		件数
学外受付	43 (13)	学外貸出	1 (0)
学外依頼	40 (8)	学外借受	2 (0)
合計	83 (21)	合計	3 (0)

※()内数字は大学図書館以外

(4)-3CAN図書貸借依頼件数

	件数
学外貸出	0
学外借受	5
合計	5

(4)-4学内図書貸借依頼件数

	件数
学内貸出	17
学内借受	16
合計	33

11月月報のコメント

旧暦で11月は『霜月』といいます。読んで字の如く『霜が降りる月』という意味で、霜が降りるほど寒くなることを表しています。11月7日の「立冬」から、暦の上では冬を迎えましたが今年は暖かい日が続いていました。『小春日和』という言葉は、このような晩秋の暖かい日に使う言葉です。

そろそろ新年の挨拶、年賀状の準備を始める人も多いのではないのでしょうか。日本語には季節を彩る古式ゆかしい言葉がたくさんあります。新春を寿ぐ言葉とともに、あらためて美しい日本語について考えてみるのはいかがでしょうか。